

令和 6 年度社会教育関連事業等の実績

【地域づくり推進課】

項 目		概 要	主な実績
1 社会教育委員会		●年2回の会議開催により、市の社会教育・生涯学習に関わる事業等の情報共有及び意見の反映	○第1回会議 日時／R6.9.2（庁議室） 内容／・長井市の生涯学習等について ・スクールコミュニティについて
2 各外郭団体に対する支援等		●青少年健全育成事業として事務局を担うもの ・長井市まちづくり青少年育成市民会議（青少年育成推進員の設置を含む）（委託425千円） ・子ども会育成会連絡協議会（補助160千円） ●生涯学習団体等に対する補助金を計上 ・長井小町の会（補助15千円） ・長井植物愛好会（補助60千円） ●その他補助金の計上 ・市PTA連合会（補助50千円）	○長井の未来を育む少年会議(市民会議) 11・12月に市長講話を実施し、各小中学校の参加者16名が4班に分かれ、WSを実施（R7.2.15及び16） WSには、市職員(8名)がフォロワーとして参加。 2月22日に議場で発表 ※補足資料 1 ○長井の心を育む少年活動発表事業(市民会議) 市内小中校の「長井の心」にちなんだ地域活動等をYouTube上で発表 ※補足資料 2 ○ジュニアリーダー研修会、トッポール大会（子育て連）
3 学校・家庭・地域の連携協働推進事業	学校支援活動事業	●学校単位で地域学校協働本部を設置（市内小中学校8つの本部体制） ●地域学校協働活動推進員1名が常駐 ●協働活動サポーター（地域人材）をコーディネートして、授業や各種活動を支援	○コロナ前と比し、地域ボランティアとの調整や、授業の補助の面で、各校とも活発に活動を実施 ○各校の推進員による情報交換会を年2回実施し、課題や各校の活動状況等を共有
	放課後子ども教室等事業	●各地区の実施団体により土曜らんどを実施 ●各地区配置のコーディネーターを中心に、放課後子ども教室（平日開催）を実施	○土曜らんど（6地区で開催） ※補足資料 3 ・実施計22回、延べ298名(内他地区間88名)の参加 ○放課後子ども教室(各学校で開催) ・実施計39回、延べ1,376名の参加
	家庭教育支援事業	●市内幼児施設の参観日や各小中学校の就学時健診等の機会を利用し、家庭教育講座等を実施	○家庭教育講座（於：各小学校） 計6回開催 ○幼児共育講座（於：各幼児施設）計11回開催
4 はたちを祝う会事業		●「はたち」になられた方を対象とし、新たな門出を迎えられた皆様に祝い励ます事業を実施 ●式典は市が主催。つどいは実行委員会が運営	○対象者への事前アンケートにより、実施日程を決定 ○8月15日(木)15:00式典(市文)、16:30つどい(TAS) 参加者：177名/249名（内実行委員12名）

令和6年度事業実績

【観光文化交流課】

(1) 芸術文化活動の振興 ～芸術文化に触れる豊かな生活～

事業名	実施主体	期日
県美展長井巡回展開催事業	県美展・こども県展長井巡回展実行委員会	9月25日～30日
芸術文化協会事業費補助金	長井文化協会	10月25日～27日
芸術文化振興事業費補助金	ピアノ研究グループ、齋藤ピアノ教室	通年
小中学校芸術鑑賞教室補助金	長井市小中学校芸術鑑賞教室実行委員会	
伝統文化伝承活動事業	勸進代わらじの会	通年
デジタルアーカイブ整備事業	市	通年

(2) 文化財の保護活用と地域活性化 ～地域資源の保護と再発見～

①文化財保護管理事業

事業名	実施主体	期間
長者屋敷遺跡環境整備業務委託料	古代の丘管理運営協議会	4月8日～R7年2月28日
白山森遺跡環境整備業務委託料	白山森遺跡保存会	4月8日～R7年2月28日
締切堤防環境整備業務委託料	平野文化財研究会	4月8日～R7年2月28日
遺跡保護活用事業補助金	第40回縄文まつり実行委員会	10月13日
長井文化財保護協会事業費補助事業	長井文化財保護協会	通年

(3) 文教施設の整備・充実 ～利用しやすい施設を目指して～

事業名	内容
市民文化会館施設管理事業	文化会館指定管理料（第1期（R3～7）4年目）
文教の杜管理事業	文教の杜指定管理料（第6期（R5～9）2年目） 大規模改修事業（彫塑館エアコン改修工事）
古代の丘資料館運営事業	古代の丘資料館施設管理事業 大規模改修事業等（研修室エアコン設置）

令和6年度 スポーツ振興事業について

①各種スポーツ振興事業

事業名	期 日	目 的	実施主体	特記事項
第68回山形県縦断駅伝競走大会	4月27日 ～29日	大会を通してまち全体に活力を与える。	大会実行委員会 県内自治体ほか	県内11チーム対抗 長井中継所の運営
スポーツ少年団活動振興事業	通年	スポーツ少年団活動を通じた青少年の健全育成。	長井市スポーツ少年団本部	委託事業 365千円 詳細別掲
長井市小学校体育振興事業	通年	学校体育活動を通じた児童の体力、運動技能等の向上。	長井市小学校体育振興会	委託事業 100千円 詳細別掲
各種スポーツ競技力向上事業	通年	各種スポーツの強化支援、奨励等による競技力向上。による青少年の健全育成、スポーツ実施率の向上。	長井市スポーツ協会	委託事業 1,100千円 詳細別掲
ライフスポーツ推進事業	通年	各種市民大会を通じたスポーツ実施の向上	長井市スポーツ協会	委託事業 4,170千円 詳細別掲
山形県駅伝競走大会長井西置賜実行委員会事業	通年	県縦断駅伝、県女子駅伝への長井西置賜チームの派遣、その他強化支援。	山形県駅伝長井西置賜実行委員会	事務局所管 県縦断駅伝 記録なし (1日目10位、3日目5位) 県女子駅伝 第8位
黒獅子トライアスロン共催事業	7月14日	当市を会場とするトライアスロン競技大会の開催支援。	山形県トライアスロン協会	共催負担金：300千円 大会参加者：181人

○スポーツ少年団活動振興事業

概要及び事業内容	項 目	内 容
	登録関係	単位団：19団 団 員：599人 指導者：66人 役員・スタッフ：39人
	会議関係	◇長井市スポーツ少年団 ・本部員会兼指導者協議会理事会（2回） ・代議員兼指導者協議会代議員会（1回） ◇山形県スポーツ少年団 ・本部員会（2回） ・代議員会（2回） ◇山形県スポーツ少年団置賜地区協議会 ・理事会兼指導者協議会理事会（2回）
	指導者研修事業	◇長井市スポーツ振興懇談会（11/30）※市スポーツ協会と共催 ◇置賜地区スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会（高畠町） ◇山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会（新庄市） ◇JSP0公認スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会（川西町） ◇ジュニアスポーツフォーラム（東京都）

	リーダー研修事業	◇山形県スポーツ少年大会兼ジュニア・リーダースクール（中止） ◇日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール（静岡県）
	交流事業	◇合同入団式（期日：4月20日 会場：置賜生涯学習プラザ） ◇合同体力テスト（単位団別に実施） ◇置賜地区スポーツ少年団団員交流会 期日：11月9日 会場：置賜生涯学習プラザ 参加者：4団 54人 ◇山形県少年少女スポーツ交流大会 参加者：7団 102人
	表彰事業	◇山形県スポーツ少年団置賜地区協議会表彰 功労者：菅 洋一氏（ながいユナイテッドフットボールクラブ） 熊谷美雪氏（長井市体操） 廣瀬 修氏（長井レッドウィングス）
	広報事業	◇広報誌「スポ少長井第26号」発行 ◇長井市スポーツ少年団募集ガイド発行

○長井市小学校体育振興事業

概要及び事業内容	項 目	内 容
	会議	◇理事会（3回）
	事業	◇第44回長井市小学校親善陸上大会 期日： 9月26日（木） 会場： 光洋精機アスリートフィールド長井（市陸上競技場） 対象： 市内小学校6年生の児童 187人 内容： 児童相互の親睦交流を深めるとともに、走運動における技術や記録の向上を図る。

○各種スポーツ競技力向上事業

概要及び事業内容	項 目	内 容
	強化費・激励金交付	◇強化選手及び強化団体への強化費の交付 ◇東北大会、全国大会出場者等への激励金の交付
	顕彰	◇優秀指導者及び功労者の顕彰 ◇優秀選手（成績優秀者）への顕彰
	指導者養成	◇スポーツ振興懇談会の開催 ◇各種講習会開催の助成

②スポーツ推進委員関連事業

概要及び事業内容	項 目	内 容
	委嘱人数	15名（定数20名）
	主管事業	◇スポーツGOMI拾い大会 ◇体力・運動能力調査 ◇成人のスポーツ実施率調査
	協力事業	◇県縦断駅伝 ◇白つつじマラソン ◇長井マラソン ◇西置賜地区駅伝
	会議関係	◇総会（1回） ◇定例会（2回）
	研修関係	◇置賜地区スポーツ推進委員研修会（米沢市） ◇山形県スポーツ推進委員研究大会（庄内町） ◇東北地区スポーツ推進委員研修会（宮城県石巻市） ◇全国スポーツ推進委員研究協議会（宮崎県宮崎市）
	表彰関係	◇山形県スポーツ推進委員協議会表彰 大峽登詩子氏 ◇東北地区スポーツ推進委員功労者 小笠原秀章氏

③白つつじマラソン大会運営事業

事業名	期 日	目 的	実施主体	特記事項
ながい白つつじマラソン2024	5月18日	ジョギング、ウォーキングによるスポーツの実施機会の提供と市民の健康維持増進の機運醸成。	長井マラソン 実行委員会	種目：ペアラン エンジョイラン ファンラン ウォーキング 参加者数：157名

④長井マラソン大会運営事業

事業名	期 日	目 的	実施主体	特記事項
長井マラソン2024	10月13日	県内唯一のフルマラソンを売りに県内外に市のPRを図りながら、心身の健康づくりを实践する機会を提供する。	長井マラソン 実行委員会	種目：フルマラソン ハーフマラソン 参加者：682名

⑤長井市夏季総合体育大会補助事業

事業名	期 日	目 的	実施主体	特記事項
長井市夏季総合体育大会	6～8月	あやめ祭りと同時期に、各種競技大会を開催し、スポーツに参画する機会を創出する。	長井市スポーツ協会及び加盟競技団体	通称「あやめ大会」 17競技実施

⑥総合型地域スポーツクラブ支援事業

事業名	期 日	目 的	実施主体	特記事項
総合型地域スポーツクラブ支援事業	通年	地域住民の健康づくりを通して、地域の活性化及び市が掲げる市民一人1スポーツの実現を目的に、総合型地域スポーツクラブが実施する事業を支援する。	長井市スポーツ協会	長井市スポーツ協会が運営する長井花のまちスポーツクラブ事業の支援

令和6年度のスクール・コミュニティ推進の取組実績について

1 モデル校の指定及び実践

（１）令和6年度取り組み

- ・これまでの地域との交流・相互の協力による活動の継続。
 - ・学校の空きスペース/時間の活用検討。（ex）地域で活動する団体への開放（グラウンド等）
 - ・朝会でのコミセン事業の紹介。（コミセン主事による事業説明・参加者募集呼びかけ）
 - ・PTA親子行事における地域団体との連携方策の検討。
- ➡ コミセン・地域団体・PTA等の活動を効果的に結び付ける方向づけに取り組んだ。

（２）令和7年度に向けて

- ・令和6年度の実践を踏まえた、スクール・コミュニティ推進に向けた新たな体制づくりへ。
- ・特に、次のことに取り組む。
 - ①コミセンとの連携強化を図るため、地域学校協働推進員をコミセン主事が担う。
 - ②空き教室を活用し、保護者や地域の人たちが日常的に利用できる空間をつくる。
- ・この体制で、地区の運動会や文化祭とのつながりを生む活動、市防災訓練等の機会を生かした活動を検討していく。

スクール・コミュニティの推進に向けた新たな体制づくり(案)

2025. 3
長井市立致芳小学校



<現在、取り組んでいること>

- ・学習支援、講師 (家庭科、社会、総合的な学習等) ・少年少女五十川獅子踊り
- ・PTA親子行事 (1年: ウォークラリー、5年: 葉山登山) ・読み聞かせ、昔語り
- ・スキー教室 ・スポーツ交流 (輪投げ) ・登下校時の見守り隊
- ・コミセン事業等の紹介の場の提供 ・放課後児童クラブの校舎利用 等

<取り組んでいたこと・取り組みが可能と思われること>

- ・PTA親子行事 (4年: 教育山への植樹) ・地域の方からの講話 ・クラブ活動
- ・図書室経営の支援 (整理、環境整美、貸出対応等) ・生涯学習等における作品の校内展覧
- ・学習発表会の地域への動画配信 ・放課後子ども教室等との一層の連携 等

<取り組む方策を検討していきたいこと>

- ・地区運動会種目の授業化 ・学習発表会と地区文化祭の共同開催
- ・教育山関連行事 (4年親子行事) ・避難訓練 (地域との合同実施)
- ・夏季休業中のプール開放
- ・地域学校協働本部の組織体制化 (より主体的な組織への発展)
- ・保護者や地域の々が日常的に利用できる場 (空き教室等) の設置
- ・(施設の複合化) 等

2 他自治体の事例等の研究

(1) 複合化施設の視察

①視察先について

施設：埼玉県吉川市立美南小学校（児童数1,322人） H25開校（現在12年目）
（美南地区公民館、高齢者ふれあい広場、子育て支援センター、学童クラブ）

設置の背景：JRの新駅設置に合わせて新たに生まれた市街地のため、既存の公共施設がなく、小学校新設に伴って吉川市役所内で必要な公共施設・機能を検討した結果、複合施設として整備された。

②視察で学んだこと

- ・ 入り口は、学校部分と公民館部分で2つ。学校側は門を常時施錠。ただし、施設内では各機能を扉などで分けて管理はしていない。公民館等の利用者も児童が歩く廊下を共用し、常にすれ違う状況。互いに挨拶ができている。その他のセキュリティは、最低限の防犯カメラのみ。
 - ➡ 開校以来、トラブルなし。保護者から懸念の声なし。学校側の困りごとなし。
- ・ あえて交流を生み出す仕掛け(イベント)はしていない。日常的な関わりで触れ合う。
- ・ 校長と自治会長との関わりも増えた。普段から自然と会うことができるため。
- ・ 教員にとっては、常に地区民の利用(眼)があるため、良い緊張感がある。
- ・ 音楽室、調理室等は共用できるが地区民の利用は少ない。休日の体育館は利用率が高い。
 - ➡ 特別な仕掛けがなくても、相互に存在を認め合い、安心感が高まっている。
 - ➡ 複合化することで児童と住民の自然な関わりが生まれ、暖かなコミュニティを生み出すことができる。

(2) 事例研究

●佐渡市立畑野小学校（五十嵐和彦校長、児童数160人、地区住民約4,000人、高齢化率49%）

- ・学校を拠点にした地域総がかりの地域づくりの実践として、15年後を想像し、地域住民主体のコミュニティを学校内に創出している事例。

- ①畑小サロン 第1・3火曜日の午前中に開設。高齢者がコーヒーを飲んで談笑したり、読書・折り紙・手芸等をして過ごす。休み時間に児童と交流している。
- ②畑小アミー 月3回程度、障がい者就労施設で働く人が来校。学校を作業所にして普段の仕事をしたり、レクリエーションを行う。休み時間には体育館で児童と一緒に遊んでいる。
- ③しめなわサロン 毎週月・金開催。佐渡文化財団による「しめ縄づくり」。休み時間に、地域住民と児童も一緒にしめ縄づくりをしたり、遊んだりしている。
- ④畑小クックの日 毎月第2水曜日に開催。料理教室兼コミュニティカフェを運営。幼少のお子さん連れ保護者への家庭教育支援も行う。
- ⑤畑小ネイルホッと 毎月第1木曜日に開催。在宅介護をしている人／受けている人、子育て中の保護者等を対象にしたネイルサロンとコミュニティカフェを開設。
- ⑥さどママトーク 毎月3～4回開催。乳幼児を子育て中の保護者が主体のコミュニティ。休み時間には、乳幼児に触れたい児童が部屋を訪れて交流している。
- ⑦どんぶり広場 毎月1回、週休日に開催。地域コーディネーター、社会福祉協議会が主体。子ども食堂のような活動。カレーを作って食べ、遊ぶなど。

※いずれも地域学校協働本部の活動とすることで、施設利用申請等の手続きは必要ない。